

子ども教育学科《カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）》

【教育課程編成】

子ども教育学科は、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を実現するため、基礎教育科目と専門教育科目を体系的、段階的に編成し、各科目を配置しています。

1. 大学教育及び保育・教育に関する基礎を学ぶために、基礎教育科目を配置する。
2. 保育・教育の本質と目的を学ぶ基礎理論、保育・教育の内容と方法を学ぶ科目、教科や領域に関する科目を配置する。
3. 保育・教育の対象を理解し、受け止め、適切に働きかける力を養う科目を配置する。
4. 保育者・教育者としての実践力や問題解決能力、地域や社会に貢献する力を養うために、実習等の科目を配置する。
5. 音楽・運動・造形等を中心とする表現コミュニケーション力を養うための科目を配置する。

【教育方法】

学生が主体的に学ぶ授業、学生が協同的に学び合う対話的な授業を通して、豊かな人間性と確かな専門性を身に付けることができるように、アクティブ・ラーニングを推進し、教育の質的向上に取り組みます。

【学修成果の評価】

シラバスに記載された成績評価方法を用いて到達目標の達成度を確認し、成績評価基準にしたがって厳正に評価を行います。

学修ポートフォリオを活用し、個々の学生による自己評価、履修カルテの記録、振り返りを実施し、学修成果の獲得状況を確認しながら学修を進められるように支援します。

専攻科子ども教育専攻《カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）》

【教育課程編成】

子ども教育専攻は、ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）を実現するため、専門科目と関連科目、専攻に係る単位以外の科目を体系的に編成し、各科目を配置しています。

1. 専攻科入学前に修得した専門的内容をさらに深く学ぶための科目を配置する。
2. 高度な専門性を身に付け、職業観を確立することを目的としたインターンシップ科目を配置する。
3. 様々な課題や社会的ニーズに対応できる力が身に付けられるように現代社会や教育現場の実情に即した授業科目を配置する。

【教育方法】

実践的な学びを得られるように、アクティブ・ラーニングを推進し、主体的・協同的・対話的な教育を実施します。少人数で理論的かつ実践的な教育を実施し、個々の能力や可能性を広げられるように支援します。身に付けた知識や技能を現場で実践する経験を積み重ねるために、インターンシップを実施します。

【学修成果の評価】

シラバスに記載された成績評価方法を用いて到達目標の達成度を確認し、成績評価基準にしたがって厳正に評価を行います。個々の学生が自己の学修成果を確認しながら学修を進められるように支援します。